

萩市地域公共交通計画 検討の概要

萩市地域公共交通会議



萩市公共交通の課題認識

【広域】広域交通の役割分担と軸の明確化

- 市外を結ぶ広域交通のうち、高速アクセスは実質的に「スーパーはぎ号」6往復に限られ、一般道の路線バス含めて山口市（新幹線）方面のアクセス手段は分散している
- 来訪者のアクセス性向上のため、市外を結ぶ広域交通の再強化・集約が求められる
- 国庫補助対象系統としての存続可否は、沿線自治体の負担増に直結しかねず、地域の広域交通を見直す必要性が高まっている

◆スーパーはぎ号時刻表

新山口駅⇒萩【高速便】

運行会社	新山口駅		萩・明倫センター	萩バスセンター	東萩駅
中国JR	10:15	⇒	11:15	11:20	11:25
防長	10:50	⇒	11:50	11:55	12:00
防長	12:50	⇒	13:50	13:55	14:00
中国JR	15:20	⇒	16:20	16:25	16:30
防長	16:50	⇒	17:50	17:55	18:00
防長	17:50	⇒	18:50	18:55	19:00

萩⇒新山口駅【高速便】

運行会社	東萩駅	萩バスセンター	萩・明倫センター		新山口駅
防長	8:35	8:42	8:47	⇒	9:50
防長	10:35	10:42	10:47	⇒	11:50
中国JR	13:05	13:12	13:17	⇒	14:20
防長	14:35	14:42	14:47	⇒	15:50
防長	15:35	15:42	15:47	⇒	16:50
中国JR	17:05	17:12	17:17	⇒	18:20

出典：防長交通HP



【地域間】市内拠点間交通の維持確保

- 少子化に伴う通学需要の減少や自家用車の圧倒的な普及により、路線バスの利用者数は長期的に低迷している
- これまでのバス運転者不足に加え「バスの2024年問題」も重なり、路線バスの持続性には大きな課題が生じている
- 市内の拠点間交通の利用状況を丁寧に把握し、路線バスの大胆な再編と代替交通の確保が求められる
- 各交通事業者の置かれた経営状況等を鑑みた、丁寧かつ専門的な議論が必要である

◆運転者不足が大きく叫ばれている



出典：YouTube KRY山口放送公式ニュースチャンネル



萩市公共交通の課題認識

【地域内】「共創」による移動サービスの推進

- 人口減・高齢化に伴う移動頻度減少により、移動ニーズは縮小化・多様化し、きめ細やかな対応への必要性が増している
- 地域全体で支え合う共創による移動サービス【＝互助輸送や自家用車活用事業(自家用有償旅客運送)等】の検討に当たっては、地域住民、地域の事業所や社協等の公的組織、市の三者がWin-Winとなる形を模索の必要があり、手間と時間をかけることが求められる
- 特に、地域における様々な移動サービス（施設送迎や社協による移動支援等）や物流を含め、地域の輸送資源（ドライバー、車両）を最大限活用しつつ、安全で持続可能な交通体系の確保が求められている

国の共創による地域公共交通確保維持に向けた補助事業が創設
【共創・Maas実証プロジェクト
共創モデル実証運行事業】

- 地域の多様な関係者が連携・協働（＝「共創」）した取組を通じて地域交通の維持・活性化を図る事業を支援
- 事業実施のための基礎データ収集・分析や必要となるシステム構築、車両購入・改造に要する経費・実証事業に要する経費を500万円まで定額、超える部分は2/3補助（人口10万人以下自治体、上限1億円）

◆共創のイメージ

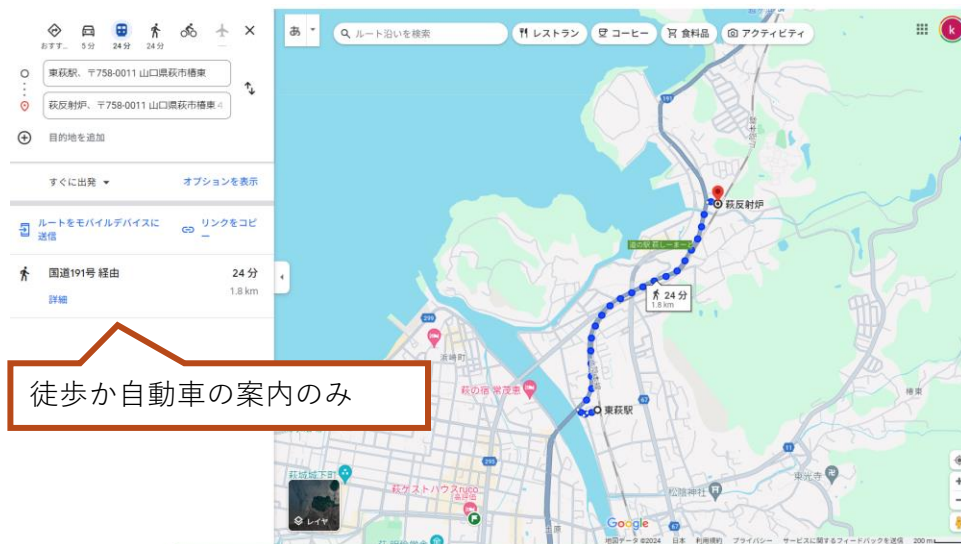


出典：国土交通省HP

【利用促進】公共交通利用促進に向けた情報提供

- 公共交通に関する情報が交通モード別に個々に発信されているものの、情報が集約されておらず利用しづらい状況である
- 公共交通で来訪する方の多くがインターネット地図サービスを使用するものの、Googleマップにおいては萩市内の公共交通情報はJR・JRバス以外は表示されない
- 外国人観光客の誘客に必要な多言語対応のインターネット上における公共交通情報発信が不足している

◆Googleマップ：市内観光地へ公共交通アクセス未表示（2024年6月現在：対応準備中）



出典：Googleマップ



計画策定にあたっての調査内容

現状・課題認識

広域交通

- 市外を結ぶ高速アクセス軸の再強化・集約
- 公共交通による来訪者増に向けた取組の必要性

地域間移動

- 通学需要への依存
- 長期的に利用が低迷
- バス運転者不足も鑑みた持続性向上が課題

地域内

- 高齢化の進行により集落内の移動ニーズ対応が深刻化
- 地域の様々な輸送資源・サービスを最大限活用しつつ、共創による安全で持続可能な地域内移動の確保

利用促進

- 情報提供の一元化・集約がなされていない
- 多言語対応含めた公共交通の情報発信が必要

実施する調査

移動ニーズ

市民アンケート調査(65歳以上)

高校生アンケート調査

観光移動ニーズ調査

- 主な公共交通のターゲットとなる通学者、高齢者、来訪者の移動ニーズを整理
- 方面別に移動量を可視化

利用実態

調査員バス乗り込み調査

ICカード等の既存データの整理

- 路線別に利用実態（利用量、利用者増）をカルテ化
- 移動ニーズと対比し、ミスマッチを分析

事業者意向

交通事業者ヒアリング調査

- 路線別に運営課題を明確化
- 運行状況、供給能力（車両数や車齢、運転者の不足等）等の状況把握により、抱える問題点を抽出

共創

関係部署アンケート調査

地域関係者による「移動サービスの在り方検討会(仮)」の開催

- ラストマイルの移動を市関係部署や住民をはじめ、地域関係者主体で担っていく共創体制構築の可能性を探る

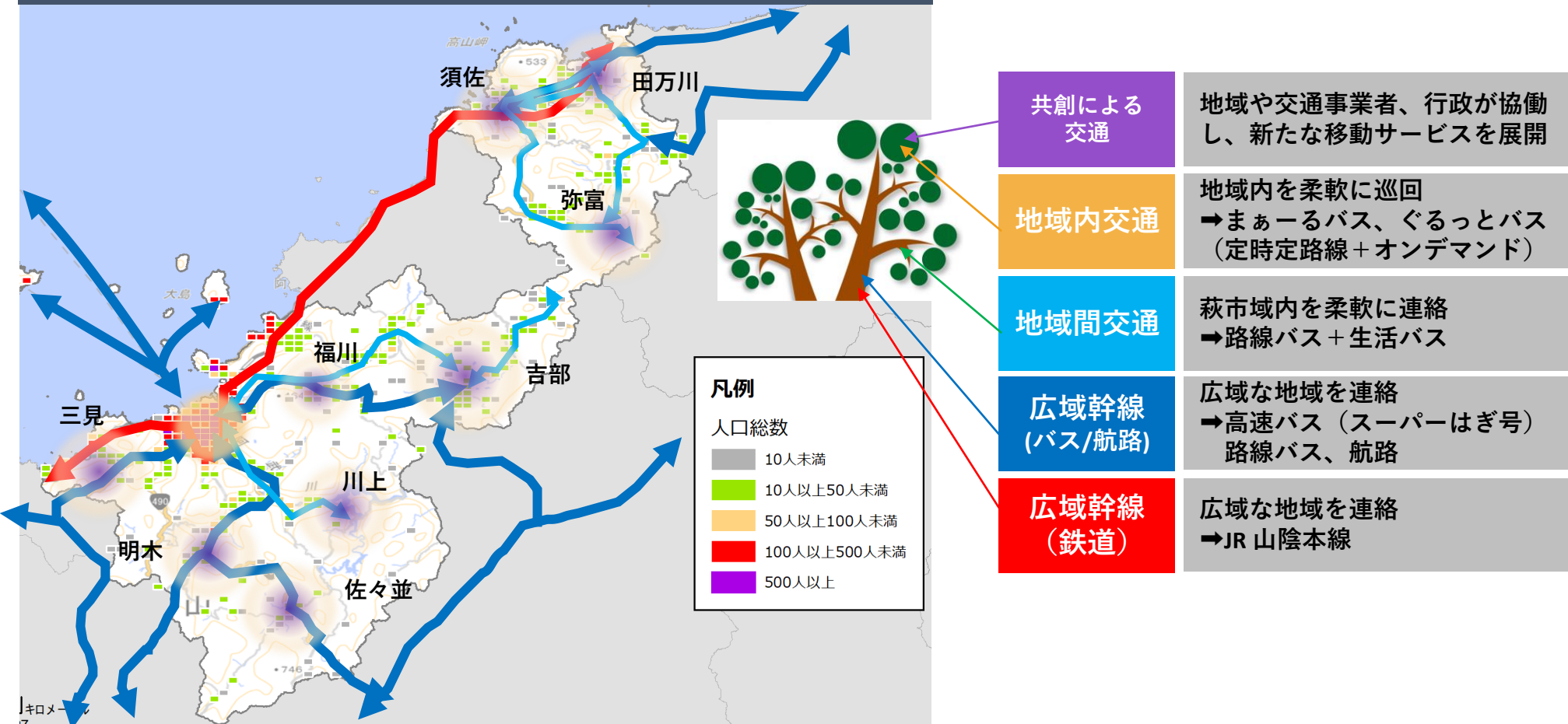
- 上位・関連計画との整合
- 現計画の評価・検証結果

基本方針・目標・目標達成に向けた実施施策の検討へ



萩市地域公共交通のめざす姿と基本的な方針（案）

めざす姿「豊かな暮らしを創る交通ネットワーク」（案）



基本方針案

- ① 【地域づくり・共創】 地域活性化に向けたおでかけの活発化を 多様な関係者と共に支える仕組みの構築
- ② 【利便性】 市民や来訪者など 誰もが公共交通を抵抗なく利用できる環境づくり
- ③ 【持続性】 公共交通を運行し続けるための「利用者増・公共交通従事者確保・車両改善・資金確保」



計画策定に向けた工程

実施内容													
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
事業内容	計画準備												
	(1) 地域概況の整理												
	(2) 上位・関連計画の整理												
	(3) 地域公共交通、地域内輸送資源の現状整理												
	① 調査員バス乗り込み調査												
	② ICカード等の既存データの整理												
	③ 交通事業者／関係部署へのアンケート・ヒアリング												
	④ 市民アンケート調査												
	⑤ 高校生アンケート調査												
	⑥ 観光移動ニーズ調査												
	⑦ 移動サービスの在り方検討会（仮）の開催												
	(4) 公共交通の問題・課題の整理												
	(5) 基本方針と目標の検討												
	(6) 目標達成のための施策・事業、他分野を含めた共創の検討												
	(7) 萩市地域公共交通計画の作成												
	(8) 萩市地域公共交通会議の開催支援（3回程度想定）												
	(9) 協議・打ち合わせ（5回程度想定）												
	成果品												

7月：夏休み前に実施

7月初旬配布→7月下旬～、以降集計・分析

8月実施

夏休み前：計画・実施

各種調査実施後、9下旬～10月頃実施

随時とりまとめ

調査結果・課題の共有

素案報告

パブコメ

報告・計画承認